

保護者様
関係各位

みどりの学び舎
世田谷区立緑丘中学校
校長 楠 美 利 文

前年度の改善方策について実行した改善結果 令和元年度学校経営改善実施状況報告

1 地域との連携・協働による教育について

- (1) 学校公開期間、土曜授業日の学校公開、教育相談週間を活用した保護者との連携の深化
- (2) 進路指導の情報提供としての進路説明会
- (3) 学校だよりや各種案内の地域への配布、ホームページによる広報活動と情報提供
- (4) 避難所訓練への生徒参加
- (5) 学校協議会や小中合同学校協議会を通じた「地域とともに子どもを育てる教育」の推進
- (6) 「みどりの学び舎」関係小学校との連携（年4回の研究会の実施）
- (7) 地域行事やボランティア活動への生徒参加の促進

上記の内容を通して、学校・家庭・地域が連携・協働した教育の推進に取り組みました。 「地域との連携」の関係者アンケート項目の肯定的評価の平均は、保護者 61%（4ポイント減）、地域 67%（13ポイント減）で、「分からぬ」の評価は保護者 24%（3ポイント増）、地域 15%（4ポイント減）でした。学校協議会・地域の諸会議・諸活動への参加、各種便りの配布、ホームページによる情報の発信などにより、一層の工夫が必要である結果となりました。本校の P T A の取組は、通常の活動をはじめ、各学期の学校行事（体育大会、学芸発表会、合唱コンクール）で行われる取組においては、特に学校の教育活動への支援と連携を深める機会として重要です。これからも保護者、地域の方々のニーズを捉え、学校への理解を一層深めていただくための広報活動・情報発信に努めながら、開かれた学校としての教育活動の推進に努めます。

2 「世田谷 9 年教育」で実現する質の高い教育の推進について

(1) 学習指導について

- ①校内研修会及び学び舎における合同研修会を活用した「教員の授業力向上」
- ②英語科、数学科における「少人数指導」
- ③音楽、技術科、家庭科における「T T 授業」
- ④生徒の学習に対する意欲を高めるための「大学生ボランティアによる学習支援（授業）」
- ⑤特別な支援を必要とする生徒について、特別支援教室（すまいるルーム）、学校包括支援員・区費講師を活用した個に応じたきめ細やかな学習支援を行う「特別支援教育の充実」
- ⑥N I E の推進によることばの力の育成と教材等への活用
- ⑦I C T 機器を活用した授業
- ⑧学習の機会を増やし、基礎的・基本的な学力の向上を図るための教員による「放課後補習」、放課後学校図書館での「大学生ボランティアによる学習支援」

上記の内容を通して、学習指導の充実に取り組みました。

関係者アンケートの「学習指導」の項目では、生徒の肯定的評価は、昨年に比べて下降しました。生徒の「授業内容の理解」の項目では 79%（1 ポイント減）や「教員の分かりやすい指導」の項目では 72%（9 ポイント減）でした。1 年生では 81%、89% という結果ではあったが、80% 以下の学年もあった。全ての学年で肯定的評価が 80% 以上を継続できるように、今後も生徒理解に基づいた指導や関心・意欲を高める指導内容・方法を工夫し、展開することにより、学力向上に向けた取組を充実させます。

(2) 生徒指導について

- ①生徒の心情の理解に努め、人権尊重に基づいた生徒に寄り添ったきめ細やかな指導を通した生徒同士、生徒と教師の心のつながりを大切にした学級経営、生徒指導の推進。
- ②安全で安心な教育環境づくりを徹底し、まじめに努力する生徒が報われる学習環境、生活環境づくりの徹底。
- ③週1回のスクールカウンセラーも含めた校内支援委員会を開催し、生徒の情報交換や支援の方策などを検討し、生徒理解に努めた。
- ④元気にあいさつができる緑丘中学校の伝統を継承し、コミュニケーションの第一歩である、あいさつを呼びかけました。
- ⑤生徒、教員、保護者が一体となり、よりよい緑丘中学校を作る教育活動の展開
上記の内容を通して、生徒指導の充実に取り組みました。

関係者アンケートの「生活指導」の項目において、教員の指導に関する内容では、肯定的評価平均は、生徒81%（5ポイント減）、保護者74%（7ポイント減）でした。生徒、保護者とも前年度より肯定的評価が減じているので、より一層、生徒理解に努めます。学校行事におけるPTAの活動は、学校と家庭が協力して生徒の成長を支援する貴重な取組です。また、相談しやすい体制づくりに努め、保護者と学校が一体となって推進する教育活動を充実します。併せて、生徒が安心して学校生活にのぞみ、中学生として望ましい成長を遂げることができるようにするために、生徒理解に基づいたきめ細やかな指導を通して、規律ある生活態度の育成や規範意識の醸成、よりよい人間関係の構築等を目標とした指導を継続します。

(3) 行事などへの取組について

- ①豊かな学校行事と活発な生徒会活動を通して生徒会のスローガンの一つである「一生懸命がかったいい」ことを体験させ、自己肯定感を養い、主体性を高めるために、生徒による企画・運営や行事ごとの目標に応じた充実感を味わわせ、互いに協力し認め合い、協力し合う活動体験。
- ②学校生活の問題を自分たちの力で解決・改善する問題解決能力を養うために、生徒会活動や学級活動における自動的な活動の意図的・計画的・組織的な展開。
上記の内容を通して、生徒の主体性の育成の充実に取り組みました。関係者アンケートの「学校行事」の項目では肯定的評価の平均は生徒83%（4ポイント増）であり、保護者は71%（6ポイント減）でした。生徒が体験から学び、成長を促す機会の一つとして、「一生懸命がかったいい」ことを表現する機会として学校行事のさらなる充実に努め、全ての項目に生徒の肯定的評価が80%以上になることをめざします。

3 信頼と誇りのもてる学校づくりについて

学校評価の改善

- (1) 3地区の青少年地区委員会と連携し、高齢者施設の訪問、地区委員会の活動や行事、地域の催し等の地域行事・ボランティア活動への生徒の参加を促し、地域に貢献する生徒の育成をめざす。また生徒会を通して多くの生徒を自主的に参加させる体制づくりをする。生徒会のスローガンである「地域の方々との交流を深めよう」を実現する。
- (2) 学期に1回の学校公開期間、各月の土曜授業、そして学校行事などを通して、多くの保護者や地域の方々に本校の教育活動を見学する機会（学び舎小学校の児童を対象とした夏休みの部活動体験の実施、学び舎小学校の全家庭へ体育大会・学芸発表会・合唱コンクール案内の配布など）を提供し、「社会に開かれた教育課程」のもと、保護者・地域との信頼関係の構築に努める。
- (3) 生徒と保護者の声に耳を傾け、問題の早期発見と早期解決を図るために相談機能を充実させる。そのために、学校関係者評価による評価結果と分析結果を教育活動に反映し、特に生徒と教師の信頼関係を深めることを中心に学校運営の改善に努める。

※ 保護者の皆様、地域社会の皆様のご支援、ご協力等よろしくお願いいたします。